

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Stage 胃癌に対するコンバージョン手術における予後因子
	研究目的	近年の化学療法の進歩に伴い、コンバージョン手術が可能となるステージ胃癌が増えている。ステージ胃癌に対するコンバージョン手術においては、非治癒切除と化学療法前の転移臓器が複数であることが予後不良因子であると報告されている。しかしながら、化学療法前の転移臓器が一つで R0 切除を施行した患者の予後因子は明らかではない。今回我々は化学療法前の転移臓器が一つであり、コンバージョン手術を施行し R0 切除を得られたステージ胃癌患者における予後因子を検討する。
	研究対象者	2001 年 1 月から 2016 年 5 月までステージ胃癌と診断され、化学療法が著効しコンバージョン手術を行った症例のうち化学療法前の転移臓器が複数であった症例と非治癒切除となった症例を除いた 32 例を対象とする。
	研究期間	西暦 2020 年 1 月 8 日 ~ 西暦 2020 年 1 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科 胃食道
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし